

「旧食堂・旧厨房」を、それぞれ「なかよしホール79.0㎡・会議室50.4㎡」に改造
(昭和53年2月15日完成)

② 体育館

鉄骨造平屋建て 面積 588㎡
(昭和47年9月25日完成)

③ 食堂棟

鉄筋コンクリート造平屋建て 総面積 328.6㎡
(・食堂 170㎡・160席・厨房 770.0㎡・更衣・休養室
39.5㎡・食品庫18.0㎡・その他24.1㎡)
(昭和53年2月15日完成)

④ 野外活動センター

鉄筋コンクリート造平屋建て 面積91.8㎡
(昭和49年2月15日完成以下ロッジ 炊飯場 便所同期
日完成)

⑤ ロッジ

木造平屋建て 面積 34.02㎡ 7棟

⑥ 炊事場

鉄筋コンクリート造平屋建て 28㎡ 2棟

⑦ 便所(水洗)

鉄筋コンクリート造平野建て 23.87㎡ 2棟

⑧ 倉庫

ブロック造平野建て 面積90㎡
(昭和49年2月15日完成)

⑨ 薪置場

鉄骨造平屋建て 面積 25.92㎡
(昭和53年3月23日完成)

⑩ 公舎

所長公舎1戸 職員公舎2戸
(昭和49年2月15日完成)

(4) 野外施設

① プール

25m×15m(7コース) 水深 0.9m～1.1m循環ろ
過装置、更衣室(男・女)、水洗便所、消毒槽、シャワ
ー完備
(昭和48年9月5日完成)

② キャンプ場

ロッジ、炊事場、野外活動センター、テントサイト、
野外便所等設置、面積12,000㎡、平たんな自然の松林と
広場

③ 運動場

面積 12,000㎡

④ 営火場(3か所)

⑤ その他の野外活動施設

そり場、サーキットコース、オリエンテーリングコ
ース、自然観察コース、自然遊歩道

(5) 宿泊定員

① 本館 166名

ロッジ 140名(5月～10月のみ使用。希望によりテ
ント使用も可能)

(6) 備品

① 体育用備品

㊦ 屋外

ソフトボール、軟式野球、サッカー、オリエンテー
リング用具一式、スノーボード(140台)

④ 屋内

卓球台(7面)、バスケットボール、バレーボール
バドミントン各一式、セフティマット(2)、平均台

② 野営用備品

テント(6人用30張) 寝具(寝袋、シェラフシーツ)
炊飯用具一式

③ 学芸用備品

プラネタリウム(可搬式)、16ミリ映写機、プレー
ヤー、OHP、ワイヤレスアンプ・マイク、スクリーン
(2台)、録音機(2台)、カセットテープ式(2台)
ステレオ、幻灯機、ピアノ、エレクトーン、アコーデ
オン(2台)、トランシーバー(3台)、テレビ、ハンド
スピーカー(2台)、ギター(2台)、図画板(150枚)
鉱物標本

第3節 利用状況

少年自然の家の利用は、①学校教育の一環として利用する
場合、②少年団体等社会教育関係団体が利用する場合、③少
年団体指導者養成のための市町村教育委員会等が利用する場
合、④県並びに少年自然の家の主催事業に参加する場合等に
大別される。

本年度の利用総人員は273団体(前年度は289団体)、研
修実人員21,535人(前年度は21,993人)、延べ研修人員は
52,490人(前年度は54,142人)であったが、その詳細な利用
状況は次のとおりである。

1 学校が利用したもの

利用した学校、学年、研修人員並びに研修内容は表1のと
おりである。

2 社会教育関係団体等が利用したもの

利用団体、研修人員並びに研修内容は表2の1及び表2の
2のとおりである。

3 少年団体指導者養成のために利用したもの

主催団体、研修内容、参加対象並びに研修人員は表3のと
おりである。

4 少年自然の家の主催事業

(1) 御霊櫃峠つつじめぐり

① 目的

御霊櫃峠一帯の新緑、つつじを探勝しながら共同宿泊
野外レクリエーションの楽しみを求めさせる。

② 期日、会場、参加者数

ア 期日 昭和52年6月11日～12日 1泊2日
イ 会場 福島県少年自然の家